

株式のご案内

事業年度 1月1日～12月31日
定時株主総会 3月開催
剰余金の配当基準日 12月31日(中間配当を行う場合は6月30日)
単元株式数 100株
株主名簿管理人 東京都中央区八重洲一丁目2番1号
みずほ信託銀行株式会社

	証券会社等に口座をお持ちの場合	証券会社等に口座をお持ちでない場合(特別口座の場合)
郵送物送付先		〒168-8507 東京都杉並区和泉2-8-4 みずほ信託銀行 証券代行部
電話お問い合わせ先		フリーダイヤル 0120-288-324 (土・日・祝日を除く9:00～17:00)
各種手続取扱店(住所変更、株主配当金受取り方法の変更等)	お取引の証券会社等になります。	みずほ証券 本店及び全国各支店 プラネットブース(みずほ銀行内の店舗)でもお取り扱いいたします。 みずほ信託銀行 本店及び全国各支店 ※トラストラウンジではお取り扱いできませんのでご了承ください。
未払配当金のお支払	みずほ信託銀行及びみずほ銀行の本店及び全国各支店(みずほ証券では取次のみとなります)	
ご注意	支払明細発行については、右の「特別口座の場合」の郵送物送付先・電話お問い合わせ先・各種手続取扱店をご利用ください。	特別口座では、単元未満株式の買取以外の株式売買はできません。証券会社等に口座を開設し、株式の振替手続を行っていただく必要があります。

公告方法 電子公告(<https://www.soir.co.jp/>)
ただし、事故その他やむを得ない事由によって、電子公告による公告をすることができない場合には、日本経済新聞に掲載して行います。

証券コード 8040(東証2部)

【単元未満株式(1～99株)の買取制度のご案内】

○お手続き方法
単元未満株式が記録されている口座によってお手続きの窓口が異なりますので、ご注意ください。

- ①証券会社の口座に記録されている単元未満株式
お取引口座のある証券会社(口座管理機関)にお問い合わせください。
- ②特別口座に記録されている単元未満株式
みずほ信託銀行株式会社 証券代行部(特別口座の口座管理機関 兼 株主名簿管理人)にお問い合わせください。

【支払通知書に関してご留意いただきたい事項】

「支払通知書」は、租税特別措置法の規定に基づき作成するものであり、株主様が確定申告を行う際に必要となる場合があります。当社がお支払する配当金については、株主様にお送りしております「配当金計算書」を「支払通知書」としてご利用いただくことができます。(ただし、株式数比例配分方式を選択された場合については、お取り扱いが異なりますので、お取引の証券会社にお問い合わせください。)

ご不明な点については、みずほ信託銀行株式会社 証券代行部にお問い合わせください。

株式会社 東京ソワール

本社 〒107-8604 東京都港区南青山一丁目1番1号
TEL.03-3475-1251(代)



この冊子の印刷・製本に係るCO₂はPROJECT-With the Earthを通じてオフセット削減しています。

お客様相談室 *Customer Service*

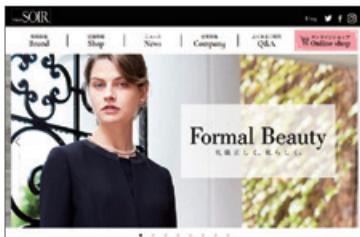
お客様からいただいたお一人おひとりの声を大切に、迅速な対応を心掛けております。いただいたご意見は、さらにお客様に愛されるフォーマルウェアをお届けするために商品やサービスへと反映しております。

03-3475-1253

(土・日・祝日を除く 10時～17時)

ホームページのご案内 *Corporate Site*

当社の最新情報、IR情報など、情報満載のウェブサイトです。



<https://www.soir.co.jp/>

公式SNS *Social Media*

フォーマルシーンに関する情報や新作のお知らせなどを、いち早く紹介しています。

● Twitter

@tokyo_soir



● Facebook

@tokyosoir



● Instagram

@tokyosoir_official



Business Report 2020

Formal Beauty

礼儀正しく、私らしく。

株式会社 東京ソワール

第52期ビジネスレポート

2020年1月1日～2020年12月31日

証券コード:8040

経営理念

ファッションビジネスを通じて、日本女性の生活文化向上に寄与するとともに、消費者・株主・従業員の福祉と豊かな生活を実現する。

企業行動憲章

私たちは、「ファッション」に関わる事業に携わる者として、企業の社会的責任を自覚し、事業活動の展開にあたっては、次の6原則に基づき、国の内外を問わず、人権を尊重し、すべての法律、国際ルールを遵守し、またその精神を尊重するとともに、社会的良識をもって、持続的発展に向けて自主的に行動します。

1. 健全な収益の確保
2. お客様に喜びと安心を提供
3. 公正・透明な事業活動の推進
4. 積極的な企業情報の開示
5. 地球環境の保全と人間の尊重
6. よき企業市民としての行動



コーポレートロゴについて *About Corporate Logo*

東京ソワールのコーポレートロゴは、国内外で高い評価を受け、「グッドデザイン金賞」「ロンドンデザイン賞グランプリ」等を受賞されている杉浦俊作氏のデザインによるものです。フォーマルのファッションメーカーらしく、エレガントで、高品質なデザインとして、永く皆様に愛され続けています。



代表取締役社長
小泉 純一

株主の皆様におかれましては、平素より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

まずは新型コロナウイルスによる影響を受けられた方々に謹んでお見舞い申し上げます。そして、日々感染対策の最前線で従事していただいている医療関係者の皆様に、改めて敬意を表し、深く感謝申し上げます。

さて、私こと、村越真二の後を引き継ぎ、3月30日付けをもちまして代表取締役の職責に任じられることとなりました。

第52期ビジネスレポートをご高覧いただくにあたりまして、ひとことご挨拶申し上げます。

当アパレル業界におきましては、コロナ禍の影響により、店舗における会話や接触が敬遠されることから、接客機会が減少し、さらに3密回避の観点から、人々が集まる場である冠婚葬祭の延期、中止や縮小化などが見られ、当社を取り巻く事業環境は極めて厳しい状況が続いております。

このような状況の中、環境配慮素材や抗菌防臭素材を使用した商品開発やECと店頭を連携させたオムニチャネル化などによる販売強化に努めましたが、緊急事態宣言の発出や感染拡大第3波の影響により売上高は大きく落ち込み、多額の当期純損失を計上することとなりました。

このような当期の業績などを総合的に勘案し、誠に遺憾ではありますが、期末配当を無配とさせていただくことといたしました。

新年度では、全営業部門を統合した営業統括本部を新設し、販路を越えた商品展開の推進や意思決定のスピードを速めるとともに、消費者の新しい生活様式に対応した商品・サービスの開発を進め、デジタル化の推進により店頭におけるお客様サービスの向上とEC販売の強化に取り組み、早期復配に向け全社員が一丸となり、財務体質の改善ならびに経営基盤の強化に努めてまいります。

株主の皆様には、大変ご心配をおかけしておりますが、なお一層のご愛顧、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

② 営業の概況

当期における日本経済は、新型コロナウイルス感染症拡大防止による各種イベントの縮小、中止や外出自粛の要請などにより、経済活動が制限され景気が急激に後退したことで、先行き不透明な状況が続いております。

当アパレル業界におきましては、消費税増税後の消費マインドの落ち込みに加え、緊急事態宣言による商業施設等の臨時休館や営業時間短縮が行われ、緊急事態宣言解除後は経済活動が緩やかに再開されたものの、更なる感染拡大や天候不順の影響もあり、消費需要は低迷したまま依然として厳しい状況が続いております。

このような経営環境の中、当社は継続して「卸売事業の収益改善」、「小売事業の収益拡大」、「新規事業の開発」、「事業基盤の強化」に取り組んでおりますが、店頭販売員の雇用確保措置に努める一方で、直営店出店など投資案件の自粛や生産仕入の抑制に加え、あらゆる経費の削減に努めてまいりました。

卸売事業におきましては、継続して取引条件の改善や不採算店舗からの撤退交渉を行いました。小売事業におきましては、直営店「フォルムフォルマ」3店舗の出店に止め、Eコマース販売は、集客プロモーションの強化を行うとともに、展開商品の拡大や在庫の集約を行ったことにより堅調に推移いたしました。また、自社Eコマースとリアル店舗との連携による「ネットで店舗へ取寄せ・取置きサービス」の展開にも取り組んでまいり

ました。しかしながら、コロナ禍において各種イベントの中止や縮小が継続し商業施設の集客も回復には至らず、店頭販売は大幅に落ち込む結果となりました。

このような取り組みの結果、商品別の売上高は、ブラックフォーマルが72億20百万円(前期比21.8%減)、カラーフォーマルが14億39百万円(同53.5%減)、アクセサリー類が15億83百万円(同40.1%減)となり、当期の売上高は、前期比47億29百万円減の102億42百万円(同31.6%減)となりました。

利益面では、売上高の減少に伴う返品調整引当金の減少はあったものの、バーゲンセール開催自粛による棚卸資産の評価替え等の増加もあり、売上総利益率は2.0ポイント悪化の46.8%となり、売上総利益は前期比25億14百万円減の47億95百万円(34.4%減)となりました。販売費及び一般管理費は、店舗閉鎖や売場撤退、臨時休館による短期臨時従業員などの人件費や賃借料及び荷造運賃の減少に加え、役員報酬及び従業員賞与の見直しや販売促進費、旅費交通費などの削減を行い、全体では前期比6億41百万円減(8.4%減)となりました。

この結果、当期の業績は、営業損失22億50百万円(前期は営業損失3億77百万円)となり、営業外収益において助成金収入1億94百万円を計上したものの、経常損失は19億62百万円(前期は経常損失2億95百万円)となりました。また、特別利益として政策保有株式の見直しによる投資有価証券売却益1億76百万円を、特別損失として直営店等の減損損失21百万円の計上を行うとともに、繰延税金資産の回収可能性の検討により、繰延税金

資産の全額取崩しによる法人税等調整額1億42百万円(損)を計上したことから、当期純損失は19億84百万円(前期は当期純損失1億93百万円)となりました。

③ 対処すべき課題

当社を取り巻く事業環境は、新型コロナウイルスの感染拡大により社会が激変し、密や接触を回避する行動様式による、卒入学式等の各種イベントの縮小や中止、店舗への来店頻度の減少や滞在時間の短縮による販売機会の減少もあり、厳しい状況が続くと想定されます。

このような環境下における最優先の課題は、事業継続のための収益性の改善であり、取引条件やコスト構造の見直し及び在庫効率向上に努めるとともに、デジタルシフトへの対応による競争力の強化を進めております。

また、持続的な成長を実現するため、卸売・小売事業においては購買行動の変化に対応したリアルとデジタルの融合による顧客接点の強化と多様化するニーズに対応した商品・サービスの開発が不可欠であり、加えて新たな収益の柱となる事業の創出、事業基盤を支えるインフラの整備と効率化に中長期的に取り組んでまいります。

① 卸売事業

顧客からの更なる支持の獲得を図ります。

- ・ ECとの連携(オムニチャネル化)による顧客利便性の向上
- ・ 多様化するニーズに合わせた商品・サービスの開発・提供による顧客満足度の向上
- ・ モノポリー化の推進による収益拡大

② 小売事業

EC事業への積極的な投資やデジタルマーケティングの強化により、新たな顧客の獲得を図ります。

- ・ 店舗の接客力や提案力のECへの移植による収益拡大
- ・ サイトコンテンツの強化やSNSの発信等による顧客認知度及び集客力の向上

③ 新規事業

新たな収益の柱となる事業の創出に取り組めます。

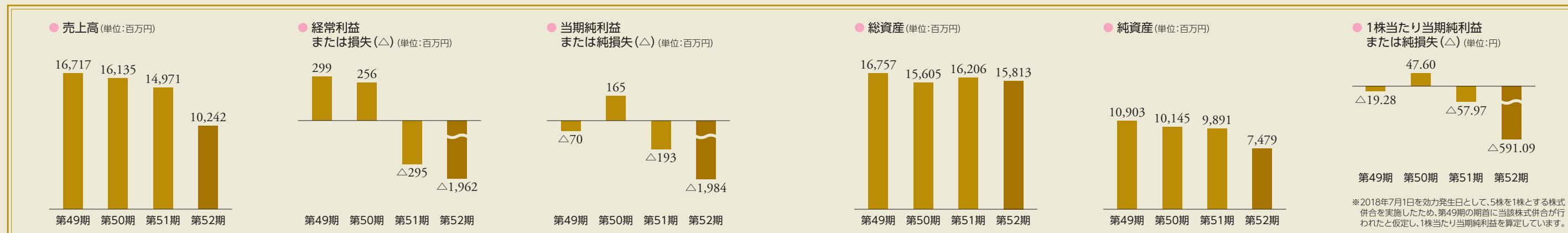
- ・ 高品質な商品・サービスを提供する事業の開発による新たな顧客の獲得

④ 経営基盤

事業基盤を支えるインフラの整備と効率化に引き続き取り組めます。

- ・ 変化を好機と捉え、果敢に挑戦していく、次世代を担う人材の育成
- ・ DX(デジタルトランスフォーメーション)推進による業務プロセスの改革

株主の皆様におかれましては、今後ともなお一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。



財務諸表

Financial Statements

貸借対照表(要旨)

(単位:百万円)

科 目	第52期	第51期	科 目	第52期	第51期
	2020年12月31日現在	2019年12月31日現在		2020年12月31日現在	2019年12月31日現在
資産の部			負債の部		
流動資産	8,587	8,779	流動負債	6,334	4,818
現金及び預金	787	848	支払手形	65	84
受取手形	3	6	電子記録債務	1,249	1,792
電子記録債権	41	36	買掛金	369	661
売掛金	1,659	2,257	短期借入金	3,600	1,000
商品及び製品	5,461	5,107	未払金及び未払費用	547	630
原材料及び仕掛品	165	226	未払法人税等	53	55
前払費用	235	241	返品調整引当金	203	411
その他の流動資産	232	54	その他の流動負債	245	182
固定資産	7,225	7,427	固定負債	1,999	1,496
有形固定資産	2,723	2,766	退職給付引当金	638	654
建物	587	629	その他の固定負債	1,360	842
土地	1,964	1,965	負債合計	8,334	6,314
その他の有形固定資産	171	171	純資産の部		
無形固定資産	538	226	株主資本	7,414	9,434
投資その他の資産	3,963	4,434	資本金	4,049	4,049
投資有価証券	1,238	1,940	資本剰余金	3,732	3,732
敷金及び保証金	411	391	利益剰余金	285	2,336
賃貸不動産	2,247	2,042	自己株式	△ 652	△ 684
その他の投資	65	60	評価・換算差額等	64	457
資産合計	15,813	16,206	純資産合計	7,479	9,891
			負債・純資産合計	15,813	16,206

(注)記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

損益計算書(要旨)

(単位:百万円)

科 目	第52期	第51期
	(2020年1月1日から 2020年12月31日まで)	(2019年1月1日から 2019年12月31日まで)
売上高	10,242	14,971
売上原価	5,447	7,661
売上総利益	4,795	7,309
販売費及び一般管理費	7,045	7,687
営業損失(△)	△ 2,250	△ 377
営業外収益	406	154
営業外費用	119	72
経常損失(△)	△ 1,962	△ 295
特別利益	176	0
特別損失	21	5
税引前当期純損失(△)	△ 1,807	△ 300
法人税、住民税及び事業税	34	32
法人税等調整額	142	△ 140
当期純損失(△)	△ 1,984	△ 193

(注)記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

キャッシュ・フロー計算書(要旨)

(単位:百万円)

科 目	第52期	第51期
	(2020年1月1日から 2020年12月31日まで)	(2019年1月1日から 2019年12月31日まで)
営業活動による キャッシュ・フロー	△ 2,836	△ 729
投資活動による キャッシュ・フロー	△ 9	△ 662
財務活動による キャッシュ・フロー	2,784	1,218
現金及び現金同等物の 増減額(△は減少)	△ 61	△ 173
現金及び現金同等物の 期首残高	848	1,022
現金及び現金同等物の 期末残高	787	848

(注)記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

株主資本等変動計算書

(単位:百万円)

当事業年度 (2020年1月1日から 2020年12月31日まで)	株主資本								自己株式	株主資本 合計	評価・ 換算差額等 その他 有価証券 評価差額金	純資産 合計
	資本金	資本剰余金			利益剰余金			自己株式				
		資本準備金	その他 資本剰余金	資本剰余金 合計	利益準備金	その他利益剰余金 別途積立金 繰越利益剰余金	利益剰余金 合計					
当期首残高	4,049	3,732	—	3,732	430	1,263	643	2,336	△ 684	9,434	457	9,891
当期変動額												
剰余金の配当								△ 50		△ 50		△ 50
当期純損失(△)								△ 1,984		△ 1,984		△ 1,984
自己株式の取得									△ 0	△ 0		△ 0
自己株式の処分									31	15		15
自己株式処分差損の振替										—		—
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)											△ 392	△ 392
当期変動額合計	—	—	—	—	—	—	△ 2,051	△ 2,051	31	△ 2,019	△ 392	△ 2,412
当期末残高	4,049	3,732	—	3,732	430	1,263	△ 1,408	285	△ 652	7,414	64	7,479

(注)記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。



ソワール ベルル

ブラックフォーマルウェア

日常生活に見られる嗜好の多様化は、フォーマルウェアにも顕著な傾向が現れております。礼節を求められるブラックフォーマルウェアにおいても、よりファッション性の高い商品開発を進めております。さらに、日本女性が受け継いでいる伝統文化や感性を尊重しつつ、最高のマナーに則し、国際的にも一流である洋服作りに取り組んでおります。



ランパン ノワール



アクアスキュータム



エモーショナル ドレッシーズ



ソワール ドルチェ

カラーフォーマルウェア

「フォーマルの場」は、人々にとってコミュニケーションの機会であり、生活様式の変遷を反映する場でもあります。昨今では、慶事の捉え方も、格式を重んじる華やかな式典から、パーソナルなお祝いまで、様々な形式が選ばれるようになってまいりました。このような時代のニーズに応えながら、日本女性を美しく見せるカラーフォーマルウェアを開発しております。



マリココウガ フィルドレ

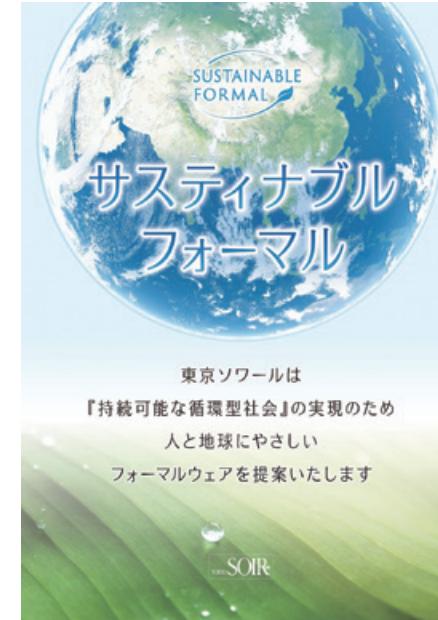
アクセサリー

悲しみの装い、晴れやかなお祝いの装い。
アクセサリーは、フォーマルシーンに
欠かせないアイテムです。
時には装いのアクセントとして、
また時にはお立場を表現するアイテムとして、
多様なコーディネートでスタイリングを
完成させます。

PETITSOIR



東京ソワールが提案する“サスティナブルフォーマル”



持続可能な循環型社会の実現のため
人と地球にやさしいフォーマルウェアを提案します。

- 天然由来の原料を使用した商品開発
- 原糸メーカーとの取り組みによるサスティナブルな素材開発

最新のリサイクル技術を用いた素材提案

使用済みPETボトルや繊維の生産工程で発生する廃材等を回収・再生利用し最新のリサイクル技術により作られたポリエステルファイバーを採用。
省資源化、廃棄物の少量化など、循環型環境安全活動の一つになります。



トピックス *Topics*

formforma 銀座地区初出店

10月30日にフォーマルコンセプトショップ「フォルムフォルマ」をマロニエゲート銀座1に新規出店いたしました。
この度の出店により店舗数は30店舗(うちWeb4店舗)となりました。

所在地：東京都中央区銀座2丁目2番14号
マロニエゲート銀座1 3階

電話番号：03-6271-0051

営業時間：11:00～21:00

記載の営業時間と異なる場合がございます。
詳しくは店舗にお問い合わせいただけますようお願いいたします。



ミス・ワールドのオフィシャルサポーターとして スタイリングをサポート

世界で最も歴史の長いミスコンテスト「ミス・ワールド」。東京ソワールは、日本大会におけるファイナリスト全員へのドレス貸与・提供ならびに世界大会における日本代表へのスタイリングサポートを継続して行っております。



ミス・ワールド2020 日本代表
金谷 鞠杏さん



CSR活動 *CSR Activities*

人生の大切な節目を彩るフォーマルウェアを通して、人々を笑顔にする社会貢献活動に取り組み、持続可能な開発目標(SDGs)の達成へ向けて活動してまいります。

社会貢献活動



● 支援活動

みなと障がい者福祉事業団や日総ぴゅあなど、障がい者雇用に取り組んでいる団体の喫茶業務の出張販売を受け入れております。10年にわたる福祉行政への協力に対して港区より感謝状を拝受しました。



● シニア支援

「お洒落」には心を弾ませる力があります。福祉施設を訪問し、フォーマルウェアを取り入れたショーイベントを行っています。

● ピンクリボン活動

乳がんの啓発活動を行うNPO法人J.POSHにオフィシャルサポーターとして登録し支援しています。

● 被災地支援

被災地への寄付を目的としたチャリティセールを実施しています。



● 教育CSR

子ども世代にファッションの楽しさを伝える出前授業を実施しています。この活動は芸術文化による豊かな社会創造の実現を目的としたメセナ活動に認定されました。



THIS IS MEGENAT 2020

● 地域貢献

デザイナー体験等のワークショップを実施、小中学生のキャリア教育の一端を担っています。コロナ禍においてはオンラインで対応しています。



● マナー講座開催

社会の一員として身につけておきたいフォーマルウェアの基礎知識。学校や各種団体にて、ご要望に応じたマナー講座を開催しています。

環境への取り組み



不要な衣類を売却しその収益金でパラスポーツを支援する「ふくのわプロジェクト」に参加しております。

また、素材を有効活用するサステナブルの観点から、学校や施設にもものづくりの材料として端切れを提供し、環境に配慮した取り組みを行っています。



オンラインショップ *Online Shop*

目的に合わせ、アイテム・用途別に商品をご覧いただけます。

FORMAL MESSAGE

BY TOKYO SOIR

東京ソール公式通販サイト
「フォーマルメッセージ」



<https://formal-message.com/shop/>



form forma

-Double Formal Closet-

直営店公式通販サイト
「フォルムフォルマ」



<https://formforma.jp/>



TOKYO SOIR RENTAL DRESS

レンタルドレスショップ
「東京ソール レンタルドレス」



<https://www.soir-rentaldress.jp/>



Formal wear Q&A

生活に役立つ“フォーマルウェア”のマナーと着こなしについてご紹介します。

革製のバッグや靴は殺生にあたるため避けた方が良いでしょうか？
ホースヘア(馬毛)やシャークスキン(サメ革)のバッグについては？

オートクチュールの世界では、ドレス・バッグ・靴をすべて同じ布地からお仕立てしてしました。布製のバッグや靴のコーディネートはとてもバランスよく美しい装いです。その由来から、バッグや靴は布製が正式と言われていました。

一般的には布製のバッグが主流ですが、革製のバッグや靴は持つべきではないという決まりはございません。

ポイントは「黒であること」「華美な装飾がないこと」です。

当社のホースヘアやシャークスキンバッグは、お通夜やお葬式などのお悲しみの席でもお持ちいただけるデザインです。



会社概要／役員／沿革／株式の状況

Corporate Information

会社概要 (2020年12月31日現在)

商号	株式会社東京ソワール
本社所在地	東京都港区南青山一丁目1番1号
設立	1969年1月23日
資本金	4,049,077,623円
主な事業内容	婦人用フォーマルウェアの製造・販売ならびにアクセサリ類の販売
従業員	258名、その他販売員及び臨時従業員1,502名
主な事業所	本社 〒107-8604 東京都港区南青山一丁目1番1号
	関西支店 〒542-0081 大阪市中央区南船場二丁目5番12号
	川崎商品センター 〒210-0821 川崎市川崎区殿町一丁目19番12号
	※2021年1月31日、中部営業所(名古屋市中区)を閉鎖いたしました。

役員 (2021年3月30日現在)

取締役 会長	村越 眞二
代表取締役社長	小泉 純一
取締役 常務執行役員	青山 秀夫
取締役 上席執行役員	大島 和俊
取締役 上席執行役員	小林 義和
社外取締役	石井 銀二郎
取締役 (常勤監査等委員)	宮本 幸三
社外取締役 (監査等委員)	野村 浩子
社外取締役 (監査等委員)	岡本 雅弘
社外取締役 (監査等委員)	瀧村 竜介
上席執行役員	坂本 勝郎
上席執行役員	吉村 暢晃
上席執行役員	牛田 広光
執行役員	齊藤 兼文
執行役員	十代田 正

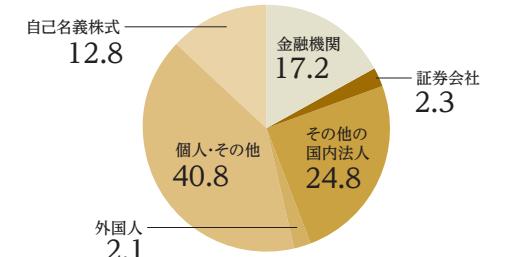
株式の状況 (2020年12月31日現在)

- 発行可能株式総数 14,000,000株
- 発行済株式の総数 3,860,000株
(自己株式494,159株を含む)
- 株主数 2,421名
- 大株主

株主名	持株数	持株比率
田村 駒 株式会社	1,802 百株	5.35 %
株式会社みなと銀行	1,651	4.90
株式会社三菱UFJ銀行	1,640	4.87
帝人フロンティア株式会社	1,610	4.78
東京ソワール取引先持株会	1,206	3.58
伊藤 偉 平	1,184	3.51
株式会社みずほ銀行	1,159	3.44
草野 圭 司	1,156	3.43
明治安田生命保険相互会社	884	2.62
旭化成株式会社	800	2.37

(注) 1. 当社は、自己株式を494,159株保有しておりますが、上記大株主からは除いております。
2. 株式会社日本カストディ銀行(信託EIO)が、基準日現在に所有する当社株式46,700株を自己株式に含んでおります。
3. 持株比率は、自己株式を控除して計算しております。

●株式の分布状況(%)



区分	株数
金融機関	664,941 株
証券会社	87,173 株
その他の国内法人	958,161 株
外国人	79,199 株
個人・その他	1,576,367 株
自己名義株式	494,159 株

沿革

1954年(昭29年)	児島絹子が東京都世田谷区に「ソワール洋装店」オープン	1977年(昭52年)	名古屋市に中部営業所を開設	1991年(平 3年)	川崎商品センター増築工事完了による物流体制の拡充	2015年(平27年)	株式会社ワールドとのライセンス契約ブランド「リフレクト」発表 中部営業所を中区から東区へ移転 札幌営業所を閉鎖
1969年(昭44年)	「株式会社東京ソワール」を資本金200万円にて設立	1978年(昭53年)	札幌営業所を開設 本社を現在の東京都港区南青山に移転	1992年(平 4年)	表参道店新築完成	2017年(平29年)	意思決定の迅速化と収益管理の強化を目指し、 機能別組織体制から製販一体の組織体制へ移行
1971年(昭46年)	「黒のフォーマル」に製品を特化し、その後の成長基礎を築く	1981年(昭56年)	神奈川県川崎市に川崎商品センターを開設	2003年(平15年)	中部営業所を千種区から中区へ移転	2018年(平30年)	株式会社レナウンとのライセンス契約ブランド 「アクアスキュータム」発表
1973年(昭48年)	関西方面取引拡大のため関西出張所を開設	1982年(昭57年)	関西営業所を支店とする	2006年(平18年)	株式会社ワールドと提携 新ブランド「ランバン ノワール」発表 関西支店を立売堀より南船場へ移転	2019年(平31年)	九州営業所を閉鎖
1974年(昭49年)	本社を東京都渋谷区桜丘町に移転。取引店舗全国69店舗となる	1984年(昭59年)	川崎商品センター増改築工事完成、物流機能の集約化 東京都渋谷区に表参道店開設	2007年(平19年)	自己株式の消却を実施 (消却前の発行済株式総数に対する割合は10.32%)	2019年(令元年)	「東京ソワール レンタルドレス 表参道店」を新規出店
1975年(昭50年)	世田谷商品センターを開設 浅丘ルリ子と契約、テレビCMを中心に宣伝を開始しフォーマル市場の拡大を行う 関西出張所を営業所とする	1986年(昭61年)	店頭登録による株式公開及び、公募増資の実施	2008年(平20年)	新ブランド「ウンガロ・ソワ」発表	2020年(令 2年)	商品供給プロセスの変革とデジタルトランス フォーメーションの推進を目的とした組織体制へ移行
1976年(昭51年)	福岡市に九州営業所を開設、取引店舗100店舗となる	1988年(昭63年)	東京証券取引所市場第二部に上場	2010年(平22年)	イオンレイクタウンに「フォルムフォルマ」1号店オープン	2021年(令 3年)	中部営業所を閉鎖
				2013年(平25年)	株式会社ワールドとのライセンス契約ブランド「INDIVI」発表		